

飛騨高山

残したい

想いと風



高山市
清見町

おっぱら夢組合 理事長

小谷 秋藏さん
こたに あきぞう

目の前に自然があるんやで
触れてみてほしいな。
地域になかった体験を
取り入れるのも大事やよ。

自然が学び場

高山市清見町大原（おっぱら）地区。ここに生まれ育った小谷秋藏さんは、若い頃から山仕事や川魚の養殖に携わってきました。

やがて大好きな木や植物について学ぶようになり、自然案内人としても活躍。その経験を生かし、地域の仲間と共に「おっぱら夢組合」を立ち上げて、おっぱら自然体験センターの運営管理をはじめました。

小学生の学童保育や幼稚園のお泊まり保育のほか、さまざまな研修での利用も受け入れています。

せっかく山や川があるのだから、自然の中を歩いて、見て・触れる体験をしてほしい！そんな想いで、日々アイデアを考えています。

飛騨だからできる体験

「おっぱら夢組合」では
さまざまな自然体験を考案し
提供しています。



木や草花を
観察しよう

春

夏

太陽の下で
思いきり遊ぼう

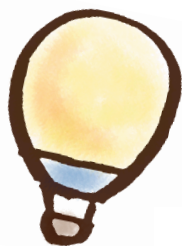


秋

山の恵みを
探しに行こう



ラジコン式の
ミニ気球も
人気♪

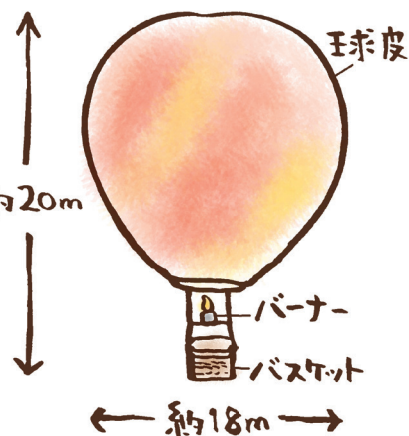


気球をあげられない
雨や強風の日は
室内で膨らませて
触れる体験をします。



飛騨になかった体験

「飛騨高山夢気球プロジェクト」 約20m
たくさんの子どもたちに
夢を与えています。



気球は、布の袋「球皮」
炎を出す「バーナー」
人を乗せる「バスケット」
からできています。

気球に魅せられて

「おっぱら夢組合」では、
地域にある道の駅に併設さ
れた「パスカル清見オート
キャンプ場」の管理業務も
しています。

あるとき、パスカル清見
の広場へ、三重県の気球業
者に大きな気球を持ってき
てもらい、気球に乗るイベ
ントを行いました。

これをきっかけに「飛騨
の子どもたちを気球に乗せ
てあげたい!」という気持
ちが芽生え、一念発起して
始めたのが「飛騨高山夢気
球プロジェクト」です。

センター長が気球の操縦
免許を取得し、中古の気球
も購入して、気球体験がで
きる環境を整えました。

最初は広いグラウンドが
空いていなくてなかなか場

所が見つからず、知り合い
の先生にお願いして山王小
学校で上げる許可をもらい
ました。ガスバーナーはゴー
ーとすごい音がするので、
地域の町内会長にも挨拶に
行きました。

今では新品の気球を手
入れて、学校などを中心
に子どもたちを乗せる活動
を行っています。

心に残る体験を

自然と触れ合うことや、
自分たちが暮らすまちを空
から眺めることは、子ども
たちにとって忘れられない
思い出となります。

この体験をすることで、
故郷を大切に思う心や、夢
見る気持ちを育むきっかけ
となることを願いながら活
動しています。

いま、
伝えたいこと



「田舎やで何もできない」でなくて、**田舎にできることをフル活用することが地域の活性になる。**それだけでなく、気球のように**田舎にないものを持ってくることも**大事なかな。

人口は減つとるけど、地域が続いていくには**次世代のリーダーが必要。**ここに住んだら住民なんやで、どこから来た人も歓迎して、**来るもの拒まず助けてもらいます。**若い人のやりたいことは前向きに応援します!